

## 令和6年度第3回倉吉市地域公共交通会議 会議録（要旨）

（日時）令和7年1月17日（金）13時20分～14時

（場所）倉吉市役所北庁舎3階A会議室

（出欠）会長、副会長、委員14名（欠席委員6名）、随行者1名、事務局5名

### = 次第 =

1 開会

2 挨拶

3 報告事項

（1）令和7年春の路線バスのダイヤ改正について

4 協議事項

（1）打吹エリア周遊モビリティ「打吹つながるモビリティ（U-MO（ウモ）」のうち、  
うつぶきループバス運行計画案について【承認】

（2）市内線の廃止並びに北谷線・高城線の減便及び横田線の増便について【承認】

5 閉会

### 《主な意見等》

#### 3 報告事項

（1）令和7年春の路線バスのダイヤ改正について

（事務局）

- 県立美術館の開館に合わせ、3月29日から「県立美術館前」バス停を新設し、日本交通(株)、日ノ丸自動車(株)のバス路線のうち、県立美術館前の道路を通過する路線について、当該バス停を経由するダイヤ改正を行う。
- 4月1日付けで日本交通(株)が運行する市内線のうち夜間便を廃止する。
- 4月1日付けで日ノ丸自動車(株)が運行する北谷線・高城線の土日祝日運行便について、一部を減便し、横田線を増便する。

（質疑なし）

#### 4 協議事項

（1）打吹エリア周遊モビリティ「打吹つながるモビリティ（U-MO（ウモ）」のうち、うつぶきループバス運行計画案について

（事務局）

- 倉吉市から日本交通(株)、日ノ丸自動車(株)へ運行委託し、3月30日から1年間の土日祝日において、上灘地区（県立美術館）から明倫地区（円形劇場）までの間の1周5.7kmのループバスを運行する。
- 車両は、通常の路線バス車両を活用し、ループバスのマグネットラッピングを行う。

- 停車場所は、路線にある 15 箇所の既存バス停のうち、観光駐車場や市内の観光地に近接する 6 箇所の主要バス停を設定する。
- バス停には、既存のバス停標柱に U-MO ロゴ入りの時刻表を掲示する。
- 運賃は 1 乗車大人（中学生以上）100 円、小人（小学生）50 円、幼児や障がい者割引等の設定は通常の路線バスと同様で、通常の定期券や回数券の利用は不可とする。ただし、特殊乗車券である鳥取藩乗放題手形での乗車は可能とする。
- 倉吉パークスクエアで次便に乗り継ぐ場合は、乗り継ぎ割引を適用し、次便乗車時の運賃は無料とする。
- 既存のバス路線のうち、事業者ごとに運行していない道路については、本会議終了後、認可路線手続きを各社に行っていただく。
- 運行ルートについては、地域住民や周辺商業施設等と協議を重ねてきたもの。ループバスとグリスを組み合わせて、白壁土蔵群周辺をゆっくりと周遊いただける環境を整えていきたい。

（倉吉市身体障害者福祉協会 河野委員）

- ループバスの乗車人数はどの程度か。
- 県立美術館の敷地内までループバスが入ることは想定していないか。

（日ノ丸自動車株式会社 徳丸委員）

- 通常の路線バスと同様で、座席は 25 人程度、立ち席を含めると 50 人程度乗車できる。

（事務局）

- 県立美術館敷地内までの乗り入れは考えていない。

（鳥取運輸支局 大林委員）

- 土日祝日運行とあるが、お盆や年末年始の運行はあるか。
- 障がい者割引があるのとこのだが、車両はノンステップバスか。

（事務局）

- お盆や年末年始期間中も、カレンダーどおりで土日祝日の運行とする。

（日本交通株式会社 池口委員）

- 車両は車椅子対応のノンステップバスを用いる。

（会長）

- 運賃については、本会議後に開催する運賃分科会での協議となる。

**= 承認 =**

## （2）市内線の廃止並びに北谷線・高城線の減便及び横田線の増便について

（日本交通株式会社 池口委員）

- 市内線について、平成 28 年ごろから利便増進実施計画に基づき夜間バスの運行をスタートした。しかしながらコロナ等の影響もあり、年間の 1 便あたり平均で 2.5 人程度の利用であり、存続が困難であると判断した。夜間バスの廃止を承認いただきたい。

(日ノ丸自動車株式会社 岡本係長)

- 平成 27 年に北谷線・高城線は路線再編を行い、平日は減便し、路線を短縮させた横田線の新設し、短縮によって交通空白となるエリアにおいて、日ノ丸ハイヤー株式会社による乗合タクシーの運行を開始した。土日祝日については、当時、日ノ丸ハイヤー株式会社として乗合タクシーの運行が対応できなかったことから、北谷線・高城線の運行を継続してきた。
- 昨今のコロナ禍等による利用者の減少や乗務員不足、労務管理に関する規定が厳しくなったことにより、これまでどおり路線バスとして運行を継続することが困難になった。また、日ノ丸ハイヤー株式会社では、土日祝日の乗合タクシーの運行が可能となったとのことから、土日祝日も平日同様に路線を短縮して横田線の新設することで、北谷線・高城線を減便し、効率的な運行を行いたい。
- 土日祝日の減便及び横田線の新設後、平日同様、日ノ丸ハイヤー株式会社による乗合タクシーの運行により、地域住民の移動手段を確保していく。

(特定非営利活動法人たかしろ 尾崎委員)

- 土日祝日についても日ノ丸ハイヤー株式会社による乗合タクシーが利用できるという理解でよいか。

(日ノ丸自動車株式会社 岡本係長)

- お見込みのとおり。

**= 承認 =**

以上